

平成28年度

当初予算成立

平成28年度各会計当初予算は、3月7日(月)から18日(金)まで開催された3月町議会定例会で可決され、成立しました。

一般会計当初予算は、58億円という、前年度比1億1,000万円、1.9%増の予算となりました。今月号では一般会計を中心に予算の中身をご紹介いたします。

予算編成の方針

国における歳出の抜本的な見直しと歩調を合わせ、財政健全化を進めていかなければならないことから、徹底した事務事業の見直しと経常経費の圧縮を図りながら、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画のもとに、新たな感覚で施策の評価を行



予算編成の方針を述べる遠藤町長

い、総合計画の基本理念「やさしさとふれあい」「復興と進化」を基軸に、さらに人口減少の克服と地方創生に向け、各種事業の重点的かつ効果的な配分に努めた予算編成としたところであります。

主要事業につきましては、「被災者支援事業」、「防災関係事業」、「原子力災害対策事業」、「進化する鏡石実行プロジェクト」とした4分野と、第5次総合計画における行政分野別施策として5分野の事業に取り組むこととしております。

平成28年度の主な事業

被災者支援事業

応急仮設住宅維持管理、災害援護資金貸付等
972万円

防災関係事業

消防団OB災害支援隊、防災情報通信設備改修等
5,043万円

原子力災害対策事業

(新) ふくしま森林再生事業、除染用仮置場事業
(新) 農業系汚染廃棄物処理事業等
3億1,483万円

進化する鏡石実行プロジェクト

駅を降りてみたくなる、通りを歩いてみたくなる
住んでみたくなる事業
1,643万円

第5次総合計画に基づく行政分野別施策

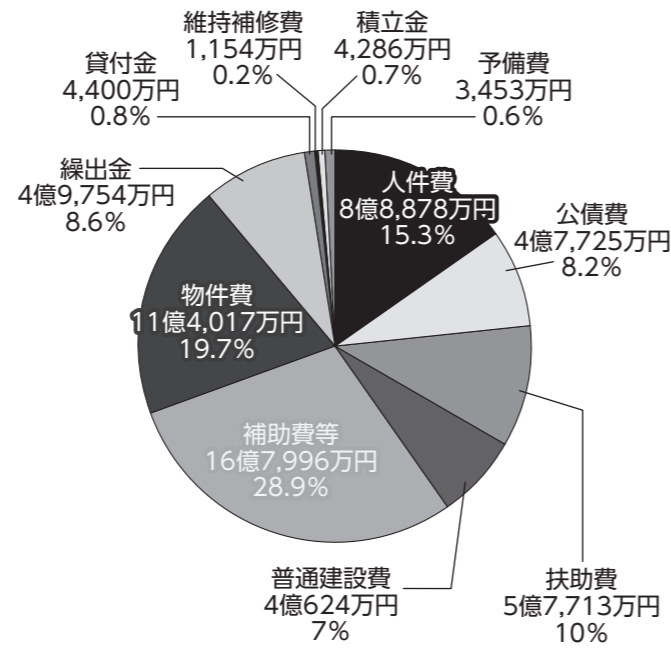
- I 町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります！
～町民参加と行政運営分野～
(新) 第5次総合計画見直事業 300万円
- II 心豊かな人を育て、地域文化を大切に作る鏡石をつくります！
～教育・スポーツ・健康づくり・文化振興分野～
健康増進予防接種事業 5,193万円
- III 地域で支え合う、人にやさしい鏡石をつくります！
～福祉・安心安全・コミュニティ形成分野～
ハッピーイートプログラム事業 527万円
- IV 新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります！
～産業振興分野～
(新) 観光地域づくり推進事業 475万円
- V 快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪れてみたくなる鏡石をつくります！
～都市整備・都市開発分野～
鏡石駅東第1土地区画整理事業 1億6,400万円

歳出

歳出においては、徹底した事務事業の見直しと最小の経費で最大の効果を上げていく考えのもと、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画のもとに、基本理念の「やさしさとふれあい」「復興と進化」を基軸に、さらに、人口減少の克服と地方創生に向け、重点的かつ効果的な配分に努めた予算編成としました。

歳出(目的別)

区分	本年度	前年度	比較
1 議会費	8,243万円	9,040万円	△797万円
2 総務費	6億3,168万円	6億3,323万円	△155万円
3 民生費	14億4,763万円	13億7,086万円	7,677万円
4 衛生費	5億8,446万円	8億8,278万円	△2億9,832万円
5 労働費	631万円	529万円	102万円
6 農林水産業費	11億6,593万円	3億8,506万円	7億8,087万円
7 商工費	9,528万円	8,891万円	637万円
8 土木費	5億687万円	4億8,609万円	2,078万円
9 消防費	2億6,928万円	2億8,854万円	△1,926万円
10 教育費	5億266万円	8億9,251万円	△3億8,985万円
11 災害復旧費	0円	3,730万円	△3,730万円
12 公債費	4億7,294万円	4億9,426万円	△2,132万円
14 予備費	3,453万円	3,477万円	△24万円
合計	58億円	56億9,000万円	1億1,000万円

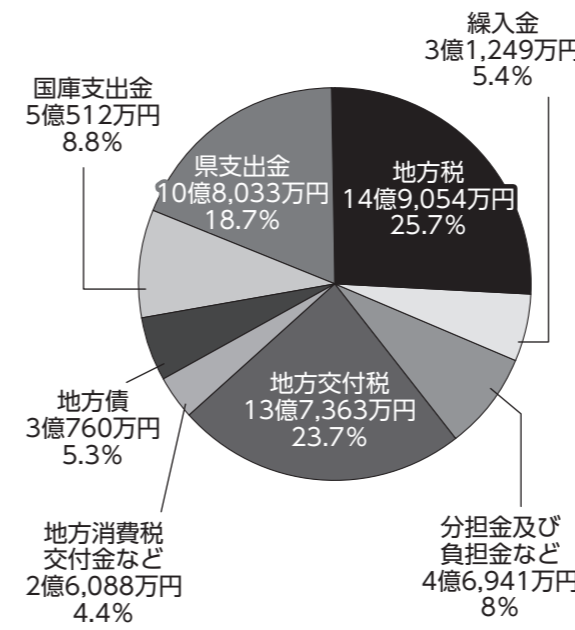


歳入

歳入では、歳入全体の25.7%を占める町税については、震災からの復興により、震災前までの回復を見込んでおります。個人町民税は前年比4.3%増の4億4,115万円、固定資産税は前年比1.5%増の8億4,216万円となりました。町税総額では、前年比1.7%増の14億9,054万円を計上しています。

平成28年度鏡石町各会計当初予算総括表

会計区分	本年度	前年度	比較	
一般会計	58億円	56億9,000万円	1億1,000万円	
国民健康保険特別会計	16億5,260万円	16億7,330万円	△2,070万円	
後期高齢者医療特別会計	9,641万円	9,676万円	△35万円	
介護保険特別会計	8億2,300万円	7億6,363万円	5,937万円	
土地取得事業特別会計	3,002万円	2,003万円	999万円	
工業団地事業特別会計	4,700万円	4,700万円	0円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億6,400万円	2億2,300万円	△5,900万円	
育英資金貸付費特別会計	843万円	1,113万円	△270万円	
公共下水道事業特別会計	4億8,240万円	5億170万円	△1,930万円	
農業集落排水事業特別会計	6,880万円	6,760万円	120万円	
小計	91億7,267万円	90億9,415万円	7,852万円	
上水道事業会計	収益的	2億4,354万円	2億3,771万円	583万円
	資本的	5億8,700万円	6億343万円	△1,643万円
	計	8億3,054万円	8億4,114万円	△1,060万円
合計	100億321万円	99億3,529万円	6,792万円	



用語の説明

「予算の仕組み」

町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分類することができます。各会計には、町に入るお金(歳入)、町から出るお金(歳出)があり、収支の均衡が義務づけられていますので、赤字予算・決算は許されません。一般会計は、町政運営の財政を基本的に経理する会計で、福祉や教育、建設など事業の大部分をまかなう会計です。

「歳入」 歳入とは、地方公共団体の一会計年度における一切の収入のことです。

「町税」 皆さんや法人が町に納めるお金

「繰入金」 各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金

「地方交付税」 自治体の財政力に応じて国から交付されるお金

「町債」 国や銀行などからの借入金

「歳出」 歳出とは、地方公共団体の一会計年度における一切の支出のことです。

◎性質別歳出

- ▼公債費 事業を行うために借りたお金(町債)の元金・

- ▼普通建設費 道路、学校などの建設・整備に使われるお金
- ▼繰入金 各種基金や特別会計間などへ繰り出されるお金
- ▼維持補修費 町が管理する公共施設などの維持に使われるお金
- ▼扶助費 社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して使われるお金
- ◎目的別歳出
- ▼議会費：議会運営に使われるお金
- ▼総務費：行政全般の事務などに使われるお金
- ▼民生費：障がい者、高齢者に対する福祉や子育て支援などに使われるお金
- ▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などに使われるお金
- ▼農林水産業費：農林業振興のための支援や生産基盤整備等に使われるお金
- ▼商工費：商工業や観光の振興のために使われるお金
- ▼土木費：道路や河川、施設建設など社会資本整備のために使われるお金
- ▼教育費：教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などに使われるお金